



©Ayane Shindo

松井 慶太 (指揮者)
Keita Matsui, Conductor

2009年 第15回東京国際音楽コンクール(指揮)にて入賞・奨励賞受賞。2022年よりオーケストラ・アンサンブル金沢のコンダクターを務め、2023年5月には同楽団第468回定期演奏会に華やかなデビューを飾った。2025年4月より同楽団パーマネント・コンダクター。2024年3月には名古屋フィルハーモニー交響楽団の第521回定期演奏会に代役指揮者として急速登壇し、公演を成功に導く。オーケストラの支持を得て、2026年1月に名古屋フィルハーモニー交響楽団第541回定期演奏会に再び出演することが決まっている。

1984年青森県八戸市生まれ。東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広く上淳一、汐澤安彦の各氏に師事。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学び、16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2006年に韓国で行われたアジア・フィルハーモニック・オーケストラにて指揮をチョン・ミョンフンに師事。2008～2014年にN響定期演奏会にて、シャルル・デュトワ、チョン・ミョンフン、ファビオ・ルイーシ、トゥガン・ソヒエフらの公演の合唱指揮者を務めた。

これまでに、ライブソフィア交響楽団、ブラハ交響楽団室内オーケストラ、ドナウ交響楽団、日本フィル、シテイ・フィル、パシフィックフィルハーモニア東京、札幌、仙台フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、山響、群響、名古屋フィル、セントラル愛知、中部フィル、京響、大響、九響、関西フィル、東京室内歌劇場、東京佼成ウインド、シエナ・ウインド、東京吹奏楽団、東京混声合唱団等、国内外の演奏団体を指揮。2011年～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス、2025年4月より東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任教授。



東京吹奏楽団(東吹) Tokyo Wind Symphony Orchestra

東京吹奏楽団は、澤野立次郎氏と日本の吹奏楽の発展に情熱を傾けた東京藝術大学教授・故山本正人氏(現東京吹奏楽団桂冠名誉指揮者)を中心に多くの方の協力を得て、昭和38年当初よりプロの吹奏楽団として創立。

以来、定期演奏会をはじめ、全国各地の学校における音楽鑑賞教室・録音などの演奏活動を続け、『東吹』の愛称で広く親しまれるとともに、日本の吹奏楽の発展に貢献。

1993年には長年にわたる演奏活動と吹奏楽界に対する功績に対し、日本吹奏楽学会より「第3回日本管打・吹奏楽アカデミー賞」(演奏部門)を受賞。2012年9月韓国国際ウインド・バンド・フェスティバルに招待され、同時に招待されていた作曲家フィリップ・スパーク氏指揮によるガラ・コンサートにて共演し、好評を得る。これを機にフィリップ・スパーク氏と親交を深め、2015年東京にて再共演を果たし、この時のライブCD「Reflections」が、レコード芸術誌2016年3月号にて特選盤に選ばれる。

2021年より豊島区国際アートカルチャー特命大使/SDGs特命大使となる。東吹は、「吹奏楽・音楽教育の普及拡大を目標に活動を続ける。



東吹

お問い合わせ

一般社団法人 東京吹奏楽団

東京都新宿区百人町 2-17-12 マンション和光 1F

03-5937-5205

info@tousui.jp

